

1996年8・9月合併号

Enfanter ● No.221

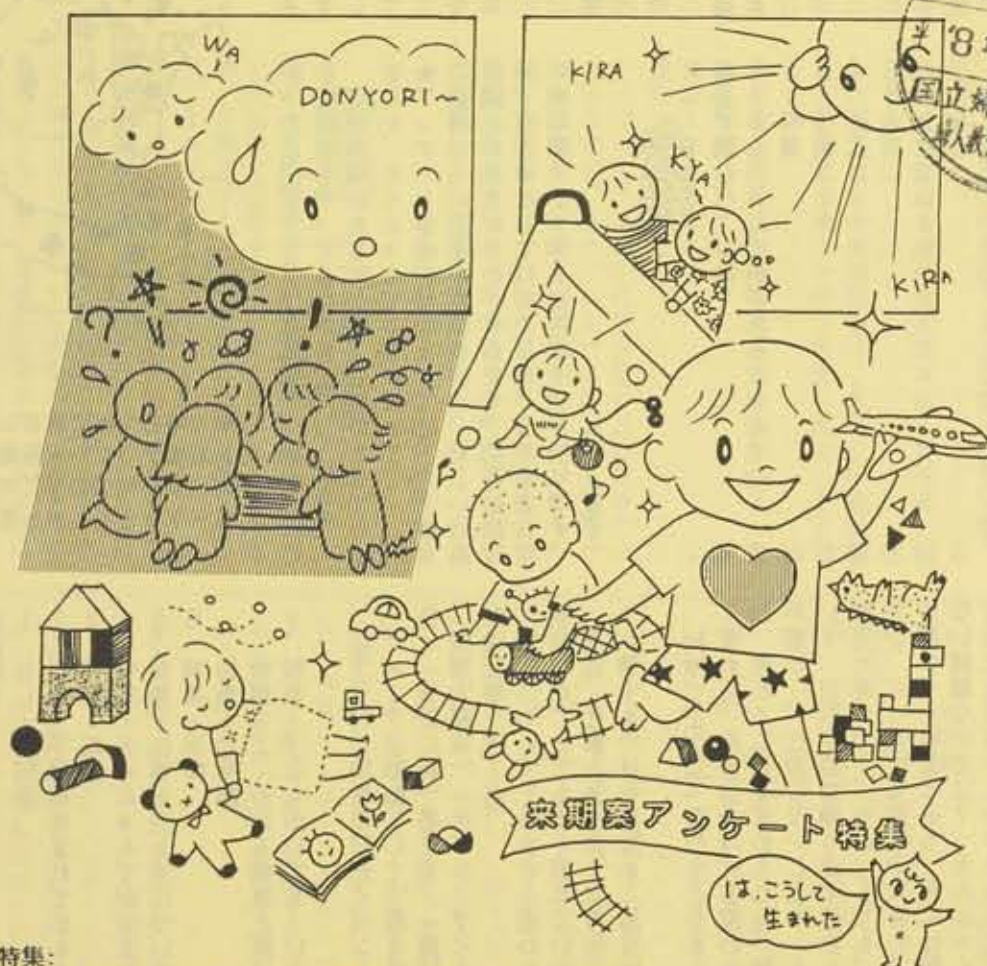
# あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む②(計画などを)考え出す③(作品などを)創り出す、の意

逐次刊行物  
平成8年8・9月  
国立婦人教育会館  
婦人教育情報センター

イラスト…鷹田



特集:

- |                   |     |                       |     |
|-------------------|-----|-----------------------|-----|
| ＜来期案＞を考えるためのアンケート |     | p2                    |     |
| ・地球を考える           | p12 | ・あんふぁんてからあんふぁんてへ      | p14 |
| ・情報コーナー           | p15 | ・覚えていますかチェルノブイリの原発事故を | p16 |



- ③会報のテーマとして興味あるものや、あんふぁんてとしても取り上げたいものは何ですか？
1. 自分の生き方
  2. 仕事
  3. 学校
  4. 本・テレビ・映画
  5. お付き合い
  6. お産・育児
  7. グループ作り
  8. 夫のこと
  9. 幼稚園
  10. 保育園
  11. 預け合い・自主保育
  12. 子どもの病気
- 以下、「結婚・離婚」「食について」「政治」「戦争」「公園事情」となり、「自分」への関心の高さが、目をひきました。
- その他の項目には、  
「夫・嫁姑・母娘・親戚・介護問題」  
「各々とのつきあい方・心のケアなど」  
「健康に関すること」  
「女性のからだについて・アレルギーなど」  
「子どもについて」  
「しつけ・病気・二人目は？・予防接種・絵本・友達・おもちゃ・虐待など」  
「交流・人間関係」  
「グループ運営・人との付き合い方・話し方・仕事」  
「家事や子育ては仕事とはいえない？・ワーキングマザーの本音・転勤族の妻の仕事」

19 19 23 24 27 28 29 31 32 32 35 36 73 名

- 「法律関係」  
子どもの権利条約・夫婦別姓・男女平等「地方」  
郷土の特集・何か地方だってガンパローってことがしたい  
「住宅問題」「環境問題」……まだまだ載せきれないほどのテーマが、寄せられています。
- ④あなた以外に会報を読んでいますか？
- 私だけ
  - 友人にも見せる
  - 夫（彼）も読む
  - 子どもも読む
- 「子ども」「親」には少数の人が見せているようです。また、「夫」には「読んで欲しいが、なかなか読んでくれない」、「友人」には「テーマによっては見せている」という意見もありました。その他、「育児サークルで回覧した」というのもありました。
- （今井）
- ①どんな活動をしていますか？  
何らかの活動をしている人は53名で、半数強。所属グループ名の書き忘れが目立ちました。それがなく、テーマ別か地域別か、または、あんふぁんて以外のグループなのか不明。項目の意図からはずれているかもしれないが、あんふぁんて以外の活動を書いた人が何人もいます。やや遠くのあんふぁんて会員よりも、近くの誰かを求めているようにも見受けられました。また、以上の理由から、統計はとらないことにしました。

## 活動

テーマ別や地域での

- ☆来期案アンケート Q&A
- Q 「来期案アンケート」って何？  
A あんふぁんては毎年十月からが新年度。そこで、八月末〜九月初めに「来期案決定の会」を開催しようという案をもちます。そこで話し合うための資料として、会員にアンケートをとる、という訳です。
- Q その交流会って、何をするといい？  
A これからの一年「どうやってやっていくか」「何をしようか」といった、会としての方向を話し合う場です。毎年、通常のミーティングよりも人は集まるし、古参（ふるま）の会員も顔をみえます。会の現状や問題点について議論したりもします。
- Q 誰が行ってもいい場所なの？  
A もちろん。子連れでも大丈夫。ぜひ参加して、ママのあんふぁんてを感じて下さい。
- Q でも、どう考えても参加不可能な地方の会員などはどうすればいいの？  
A 事前に、何でもよいから「私はこう言いたい」とか「こんな提案がある」ということを手紙に書いて送って下さい。交流会の場で取り上げましょう。
- ★★全国に会員が六百名もいる会だと思いつてもスゴい所で、スゴい人がスゴいことして、と想像してしまうかもしれません。でも、実際には何てことないのです。交流会にしても、子どもは泣きわめくし母は怒る、という日常生活丸出しでやっています。ここが、あなたの最初の一步になるのかも。

△来期案Vを考えるための



●今年もやって来ました、来期案アンケート特集の夏が。少し辛口のシゲキで、気分すっきりしゃっきり！

今回、特集を担当したのは、我々「あんふぁんて・おもちゃ箱」の有志です。いや、期せずして、あんふぁんてのこと、じっくりずっしり考えまくってしまいました。我々にとっても、これまであんふぁんて全体のことなんて他人事でした。けれど、みなさんからの回答を読み進むにつれて「もう知らん顔していられない！」という気持ちになりました。

編集に当たって我々が打ち出した方針は、「通りいっぺんの集計結果報告や単なる数字の羅列はやめて、回答から、会員は今何を思っているのか、あんふぁんての現状はどうなのかを探ってみたい」というものでした。

ともすれば、特集スタッフの主観に流れ過ぎることになるかも知れません。けれど我々は、敢えて、強く問いかけたい。

——あなたにとって、今、あんふぁんてって何？と。

活動的になることが、即、良いことではない。一人一人が自分に合ったやり方、楽しいやり方で関わってほしいこと。各々の自主性と自由意志、それが一番大事です。

でも、時には少し考えてみて。誰も動かな

## 会報

- ①必ず読むページは？
1. あんふぁんてからあんふぁんてへ
  2. 特集
  3. 情報コーナー
  4. 新人コーナー
  5. 全部
  6. 覚えていきますか？ チェルノブイリ
  7. なし
- 他に「平日あんふぁんて」「スケジュールメモ」「表紙の詩」各1名。

3 16 29 36 42 46 52 名

- ②この一年位で興味深かった記事や印象的な内容は？
1. なし・無回答
  2. 特集・子供が生まれてからの夫婦……
  3. 特集・転勤
  4. 特集・あんふぁんてが生まれて20年……
  5. 特集・仕事と生き方について
  6. 特集・学校
  7. 特集・幼稚園
  8. 特集・よくわかる電気と原子力
  9. 特集・子どもがいても……いるからこそ
- 以下は、「20周年記念イベント関連記事」「グループ活動難しい？」各4名、「夫婦の性」「表紙の詩」各2名、「嫁姑関連記事」「阪神大震災」「チェルノブイリ」「子育て関連記事」各1名。
- 「転勤についてくるものと思われている女の気持ち」が、とてもよく表れていた。
- 「別姓、仕事と生き方：女の生の声はど気持ちに響くものはないなと思う」
- 結婚で、出産で、自分をとりまく環境が大きく変わる。自分自身は何も変わっていないのに、変わることを求められる。巻き込まれ、戸惑い……。仕方ないこと？ どうにかしたい！ 自問自答を繰り返す皆さんの胸中を垣間見た感じです。それにしても、夫より妻の方が、どう見ても変化が大きい。どんなに話を聞いてくれようとも、男には到底理解できない領域なのでは？ あんふぁんてはそんな女性たちの思いをぶつけ合う大切な場なんだなあと、改めて感じました。（小橋）



②どんな活動をしたいですか？

1. ティープレイク  
2. 講演会  
3. 平日あんふあんで  
4. 合宿  
5. ガレッジセール  
6. コンサート

その他、「飲み会」3名、「泊旅行」2名、「講習会」1名、「グループ代表者交流会」1名、「演劇鑑賞」1名、「土曜あんふあんで」各1名。とりあえず集まりたい、情報を得たいという気持ちの人が多いようです。

△継続的に▽

1. 学習会  
2. 回覧ノート  
3. グループ活動  
4. 親子一緒のお遊び会  
5. 預け合い  
6. 自主保育

その他、「グループ間交流会」「お子さまも楽しめる集まり」「書き送りで参加できるもの」「息の長いつきあい」各1名。

学習会が一番多く、「自分自身の生き方について」と指定する人も。回覧ノートやグループ活動も、自分から主張すると同時に、何かを得たいという気持ちの表れだと思います。

③保険のこと

- ・預け合いの場合  
「必要」69名／「どちらでもいい」16名／「必要なし」3名。

7 18 20 25 30 36 名

10 11 18 30 34 50 名

「会員だけでできるのですか？そんなに近くに何人も会員がいる地区があるのですか？」  
「入会時は必要だったが、今は子どもが育ち不要になった」

・保険

「必要」75名／「どちらでもいい」10名／「必要なし」4名。

「必要だ」と思うが、実際使用していないので、どうしようかと模索中」

保険料がいくらか忘れた人も多いようです。年額12万円÷会員数で、現在約百八十円。「そのくらいなら」と思う人も多いかもしれません。会員の多い地域、少ない地域を問わず、一預け合いの場も保険もあるに越したことはないが、今の自分には関係がない」という人も。お互いの家の距離、信頼関係を考えると、預け合いのためでなく、親子一緒の集まりやイベント時の保育を考えて、保険が必要なのではないでしょうか？ (斎藤)

☆平日あんふあんで→会報だけでなく、会員が気軽に参加できる出合いの場。もちろん子連れOK。「皆で遊びに出かけよう」というノリ。誰か呼びかけても構いません。各地で自由に。☆ティープレイク→話し合い・おしゃべりを楽しみましょうという会。ティーマを決めて話したり、出席者が今の思いを話したり、と様々。場所は公民館などを借りるケースが多いようです。いずれにしても、あまり難しく考えなくて下さいね。

A 【情報】 【意見・考え方】 【生の声】

どんなことを「情報」ととらえているかについては不明。若干に、知識・さまざまな活動・気持ちなどのニュアンス。「意見・考え方」も情報？ こちらは「いろいろな」が圧倒的。「自分とは違う考え」(年齢・経歴の違いも含め)を認め、かつ求めている。それが、自分の世界を広げることにつながるというものが多く。その意味で、Bの「刺激・自己啓発」に共通する気持ち。「生の声」には、「本音」の他「生活の中の」の意味も。

B 【刺激・自己啓発】

中でも多いのは「自分自身(の問題)について考えるための刺激」というもの。特定のテーマについての考えきつかけ、発想の転換や活動のきっかけ、出発点という人も。「子育て中の専業主婦の私に、同じ立場でありながら、社会・政治等様々なことに視野を広げている人の存在を教えてください」

C 【共感・連帯感】

最も多かったもの。「つながり」とも。「悩んでいるのは自分だけではない、と思わせてくれる」「悩みを打ち明けられ、わかってもらえる」。「あんふあんで以外(公園仲間、幼稚園のお付き合い、近所、職場)」では話せないことが、話せる」は、テーマ・内容の深さ・悩み・弱みを指しているようだ。

D 【いやし・やすらぎ】 【元氣のもと】

よりどころ・ふるさと・砂漠のオアシス。励まし・活力・精神向上・リフレッシュ。



④平日あんふあんで  
⑤ティープレイク

この部分については、73名から回答がありました。地域別では、東京・神奈川・千葉・埼玉や愛知、大阪といった大都市近郊の会員が54名と七割を占めました。北海道を始め、岩手、新潟、長野、栃木、静岡、岐阜、奈良、岡山、広島、島根、香川、福岡といった地方の会員からの回答も目立ちました。

内容については、おおざっぱに二通りに分けられました。

A 自分が呼びかけをするのは別としても

積極的にとらえている (30名)

B 無理っぽい、と消極的。あるいは、

記入なし (43名)

つまり、今回のアンケート結果を見る限り、平日あんふあんでやティープレイクについての関心は高いとは言えません。Bの理由は、「入会してみたら近くに会員がいらない」「現在、自分に参加する余裕がない」「ティープレイクなどの集まりをする適当な場所が見当たらない」といったものでした。

「無理に明るくしないですむからラク。悩みがあっても当然と言ってくれてるみたい」安心感。「あんふあんででは自分を否定されない」という「共感・連帯感」から。ひと休みしたら元氣が出る、ということもある。

E 【本当の自分・本音】 【表現・発信】

「本当の自分」でいられる。「弱く情けない自分を出せる」「立場や役割上でなく、一人の人間として発信できる」「本音で話せる」前と重なる部分も多い。どんな意見でも否定されないから、「本当の自分」を出せる。また、他の人が「本音」で話しているから、自分もそうできる。「やすらぎ」にも通じる気持ち。逆に言えば、他ではできない状況にあるということか？ 気になるのは、「情報」「意見」「刺激」等にくらべ、この部分の数が極端に少ないこと。自分が「発信する」意識が、他から「受信する」意識にくらべて弱い。しかし「本音」には、潜在的な「発信意欲」の強さも感じられる。

F 【出合い・交流】

ここで求めているのは「共感・連帯感」の他に「多様性」。それが、自分自身を発見すること・自分の世界を広げていくことにつながるということ。「ネットワーク」にも機能面プラス「つながりの感覚」が含まれる。

☆全体に「いできる場」という表現が圧倒的。つまり、あんふあんででは自分の求めるものを与えてくれる場ということ。満足度は高い。この先何を求めるかは、次の項目。



◆あなたにとってあんふあんではどういう場ですか？

会報に関してなのか、それぞれのグループや事務局の人とのつながりに関してなのか、判断できない回答も多いが、会報を頭に置いてのものが多く。また、その下の二つの項目と分かちがたく、矢印が上下に伸びたり「上の欄の回答でした」等、混乱の跡が見られる。ここに回答したものでも、やの欄の欄のものと思われるものはそう取り扱い、キーワードごとにまとめていった。

●あんふぁんてを自分にとってどんな場にし  
たいですか？ あなたのやりたいことは何？

#### A【情報】【刺激・自己啓発】

「傷のなめ合いでなしに、自分を向上させる  
きっかけ」「知的な刺激」「通信教育のよう  
な生涯教育(?)の場」「可能性を広げる」

#### B【本当の自分・本音】

「自分を発見・見つめる・考える」  
「自分の生き方を考える・考えを確認」  
「肩書や立場・役割を抜きにした自分を  
出せる場」

「自分」を大切にしたい気持ち、「向上」  
したいという欲求、「考える」ことへの情熱  
に圧倒される。「私という一個人」を発見す  
ることは、それを表現する気持ちにつながる。

#### C【出会い・交流】

多いのが「直接会いたい」。いろいろな  
との交流」の一方で、「同じような考えを持  
った友人」「同じ目的の仲間」を求める声が  
大きい。「公園のお母さんとは話せないよう  
なことを、話し合える場」には、◆の【連帯



♥その他あんふぁんてについてあなたの思っ  
ていること、何でも書いてください。

#### 【今のままでいてほしいところ】

「サラリとしていて好き。『どうしてこれが  
やれないの?』的な押さえつけよりも、『意  
見のある方はどうぞ』というやわらかな雰囲気  
のままで」「個人個人の違う意見を、よい  
とも悪いとも評せず、間口を広く受け入れて  
いるところ」(同様の意見が計六名より)

#### 【ちょっと言いたいこと】

「生きにくさを社会のせいにする人が多い。  
内面的問題を重視したい私には、それが恐い。  
政治的な方向性を持つ場には、したくない」  
「今の人にはパワーがない。みんなもつとや  
ろうよ、的な雰囲気はちょっと。意識が行動  
に結びつければパワーが噴出するはず。そのた  
めにも声をあげやすい場で」「疲れている時  
あんふぁんてのパワーが少し重い」「受け身  
なだけじゃもったいない。もっと自己主張し  
ようよ」「呼びかければ集まるが、その後は  
それっきりという人が多い」

#### 【地方】

「事務局は橋渡し役。自分たちで活動してい  
きましよう。それはそうだが」「興味深い  
催しでいっぱい、ステキな人にドンドン会  
えると思っていたけど」「地域や近くの会  
員が少なく」「また、「言い出しつべや企画  
は自信がない・できない」の声が多い。  
「あんふぁんてをやってみてみたい! だったら  
地元でも、自分で呼びかけてやれるはずなの

感・共感」とのつながりを感じるが、同質の  
仲間指向の強さが気になる。

そこには「閉じてしまう」危険性も。「あ  
んふぁんて」と「それ以外」との区別もその  
表れ。そこで貴重なのが、「あんふぁんては  
あんふぁんてだけで閉ざしてはいたくない。開  
かれたあんふぁんてに」の声。あんふぁんて  
に新しい風を吹き込むことも、重要では?

#### D【表現】

「自分の思いを自分の言葉で話す、取り繕わ  
ない場」「問題提起をする・される場」

#### ◆欄にくらべ、「受信」側より「発信」そ

して「交流」の気持ち強い。「受け取るだ  
けではなく参加できる場」という声もある。  
「自分から」動き始める気運の高まりかも?

#### E【やすらぎ】【元気のもと】

「息抜き」「エネルギー補給の場」  
「密室育児をしている人やストレスの固まり  
の発散できる場」

◆欄にくらべると、「情報」と並んで少な  
くなったのがこの項目。現状に満足してい  
る人が多い? この中にも、今のままそうあ  
ってほしいという気持ちのものもあるようだ。

#### F【地方】

「愛知・名古屋市」三名から。名古屋あん  
ふぁんての活発化。回覧ノートから前進、グル  
ープで月一〜二回集まれるよう準備中。地域  
会員を増やし、地方発の情報を発信したい。  
「埼玉・飯能市」地元で「内気さん」のグル  
ープ等つくりたい。何かやらかしたい!

に。それをせず東京近郊の会員をうらやまし  
がってばかりの私は、ウジウジ人間?

次からは活動後の感想。「ティーブレイク  
に参加・呼びかけして、本当にあんふぁんて  
が身近に。ずっと続けていくつもり」「回覧  
ノートに加えてミニ集会を始めた。今後も定  
期的に集まればと。ここでは本音が言える」  
「顔を合わせて話す大切さを知った」  
なかなか実現は難しい。でも、地方での交  
流は、やってみると、満足度が非常に高い。

#### 【自主保育・預け合い】

希望者は、過去形も含めて六名。「もっと  
自主保育が盛んに行なわれていると思ってい  
た」「会員は近くにいて、会員外は無関心」  
と、あきらめがち。一方で、「地理的に無理  
なので、もっと会員を増やしたい」の声も。

#### 【原発】

三名から。「とくに特集はとても勉強にな  
った」「原発の記事が続いているのを応援」

#### 【アンケート】

「今回のアンケートはとても具体的でよい」  
という意見の一方、「ちょっと書きづらい形  
式になっていると感じた」という意見も。  
あなたは? まとめる側からは……ふう……

#### 【会員・会報について】

「会報が楽しみ」な人は多い。会員について  
は「真面目」「行動的で、向上心を持っている」  
の一方、「実際に会っても、不真面目な  
私では……」「固い記事はハートで読めない

【静岡・浜松市】あんふぁんて浜松の紹介。  
【長野・小諸市】あんふぁんてを知らない人  
に、会報を見せて紹介していきたい。

【新潟・南魚沼郡】老人が子守、母は仕事;  
が大多数の町で、核家族・転勤族の母子のた  
めに、自主保育・預け合いの会を作りたい。  
とにかく地方のパワーを感じる。具体的  
なものが多いのも特徴。いままで溜めてきた  
ものが出てくる勢いで、力強い。特に名古屋。

#### G【ない・わからない】

思いがけず多かった「わからない」。理由  
は、精神的・時間的ゆとりのなさが目立つ。  
気になるのは「うつむき加減」のニュアンス  
の人。しかし、「やりたいことをこれから考  
えていきたい」という前向きな意見も。

#### H【具体的な活動】

「会報」まずは紙上参加・特集・イラスト  
【事務局】新しい動きに参加・事務局で事務  
局の人と話す・お産本の手伝い・スタッフ  
会報の編集への参加、事務局スタッフ(?)  
への参加が数人ずつ。長期的計画の人も。

その他、「意見交換し、考えることが、ひ  
いては社会への働きかけにつながる」「仲  
間づくりも含めて、いろんな意味で実験がで  
きる場」と、それぞれ意欲的な意見も。

☆◆欄が現在なら、◆欄は未来。現状に満足  
肯定的な意見が多いが、もうすこし突っ込ん  
でみると、あんふぁんての場でも「自分自身  
を考えていきたい」気持ちが見えてくる。

☆おさそいの声?(詳細は事務局へ)  
・ペンションです。遊びにいらして!  
・北海道寒体験ツアーなんてどう?  
・やりますか子連れ温泉らんちき旅行  
・ボタニカルアートをこいっしょに

い気がする」「今すぐ頭でっかちな状態?  
なんかオモロイことやりたい」なども。この  
バランス感覚があんふぁんて?

#### 【感謝・感謝】

「すべておまかせで申し訳ない」他、事務  
局への声は計六名。「こういう深いハナシの  
できる場を作り出してくれたはじめの人々に  
感謝」の声も。

#### 【要望・提案】

「プロのコメントも載せて」「子どもの病気  
・薬について取り上げて」「牛乳パックや広  
告で作れる子どもの玩具の講習会、指あそび  
等を取り入れて」「相談コーナーを設けて」  
「家族ぐるみのイベントもいいのでは」等。  
自分でやりたいというより、別の誰かにや  
ってほしいというニュアンス。前の部分と合  
わせて、全体に「お客さま意識」が……

他には、「大学の後輩が、四歳以下の子ど  
も三人を残し自殺。事情は不明だが、ハあん  
ふぁんてVのことを言うておけば……と後悔。  
消えてしまいたくなるような育児中の人に、  
もっともつと知ってもらいたい」「いつもイ  
ラストに感心。ほのほのと、びったり」等。





◆あなたの近況や最近考えている事、皆に伝えたい事等、何でも自由に書いてください。

### 【仕事】

(より) 働くために勉強中・模索中の人、家族(特に子ども)との時間がもつとほしいと思う人、周りの理解のない中にかく働き続けたい人、考え、悩みながら働いている様子が目に浮かぶよう。また、こんな声も、「少しだけ専業主婦から脱出したが、(夫の扶養下)という状況に引け目を感じる。男女役割分業を助長する社会構造を変えたい」「周囲は(嫁は働き手)という考え方。食事中に(働かざる者食うべからず)とまで。自分の考えを理解してもらおうとしたが……」「二年後の夫の転勤が決定。夫に単身赴任してもらおうか、自分が仕事をやめるか?」「夫の収入に頼って生きている自分が、どこか情けない。しかし本当に働きたいのか?」次の二つは、ある意味で対象的。「仕事で一人で自立することを考えている。」

### 【自主サークル活動】

公民館や市の施設を利用して活動している人が多い。生き生きとした様子が窺えた。テーマは「自分自身」「お産」「子育て」「公共施設」「地域とのつながり」等。地域で「自主保育」をした人の満足感が印象的。

### 【社会への思い・働きかけ】

「女同士つながって、子育てをしている立場から、お金中心社会に向かって(異議申し立て)をできる存在でありたい」「仕事を持つ母・持たない母。ともに子育てにマイナスの感情を多く持っているような気がする。ネットワークを組み(子育て)の大変さ・楽しさを、胸を張って社会に訴えていきたい」

(井上・藤田)

▲来期案アンケート特集を終えてV  
あんふぁんてには強制や拒否がなく、意見には多様性がある。刺激を受けつつも互いに共感でき、自分を出せる場。これからもうあつてほしい。活動は、やりたいことを見つけて実行している人よりも、むしろ「何かしたいがわからない」「やりたいけど自分からはできない」という人の方が多い。最も考

えているのは「自分」についてで、仕事や子ども、夫や親の問題も、突き詰めれば「自分」に行き着く。

これが、回答から見えてきた会員の姿。これについて、おもちや箱では数回の編集会議を持ち、次のような話し合いをしました。▽強制は私たちだっただけイヤ。やりたい人があればいいんだと思うけど……このままだと、

女性が働くというところをもっと取り上げて」「夫婦別姓、仕事優先的な方向ばかりに行かず、子育ては(今しかない女性の退職)で、(楽しむ)みたいな考えも大切にして」

### 【子育て】

「育児ストレスがひどく、子どもを保育園に預けている。そうできない人でも、気楽に子どもを預けられる場が必要。保育園をもっと広く開放してもらえよう、あんふぁんてから行動を起こせないでしょうか?」

### 【子ども】

二人目をどうしようか考えている人は五人。「年齢的にはそろそろ……」。一人目妊娠中のトラブル、病院への不信感、第一子に手がかかる、病気が不安……等の理由で躊躇している。「第一子が大きくなり、したいことができるように。幸せな今の生活を捨てたい」第二子妊娠中は四人。うち一人は「第二子以降、自宅出産した人の話をぜひ聞きたい」「子どもの小学校入学に際して、いじめが心配」「二名。子どもの不登校でうつ状態」「転勤が子どもに与える影響に不安が……」

### 【親・夫】

「実家の両親とうまくいっていない」「これから自分の親世代との問題、自分自身また夫とのことなども考えたい。充実した生き方ができるよう、話し合いたい。具体的に親の介護の問題が切実なので、情報交換をしたい」後者は会員歴の長い人からの意見。

会員歴の長い人の意見が出たところで。

今回の回答のほとんどは五〜六千番台の会員から。二千番から四千番台が計四名。その中から一部を紹介。「親子ともに貴重な交流の場だった。十年後の今でも、あんふぁんてで知り合えた人とは友だち。……せっかく年齢的に縦の関係もあるのだから、異年齢のトピックの場、時には手のあいた会員による手助けもよいと思う。楽しいのは出会い。ここにはチャンスがある」「あんふぁんては、自分にとって(友人という財産の宝庫)。同世代はもちろん、若い人たちとも(生きる)ことについて(死ぬことも含めて)交流を深めたい」

### 【自分】

「結局自分がどう生きていきたいのかが最大の課題、それを今まで先延ばしにしていただけと気づいた。将来についてのビジョンがなく情けない。悩みながら考えながら探っていくしかない。みなさんはどうですか?」これが、代表的な意見。「自分が自分でいられるもの」「没我の域で打ち込めるもの」「自己実現の場」を求め求めている人たちの声がいっぱいで、痛々しいほど。

「自立して生きたい。夫からも子どもからも私は私らしく生きたい。このあたりまえの願いを、なぜ今まで封じ込めてきたのか。母親なのだから、母親のくせに、という母性信仰を跳ね返すだけの力を持ちたい。『母性』を考えてみるつもり」「母性」の他に、「家制度・別姓に興味あり」という意見や、別に、「女性学」のための情報交換を望む人もいた。

以上のことを踏まえて、おもちや箱が提案するのは、次のことです。

あんふぁんてのシステムを変えて、例えば運営委員会のようなものを組織する。内容はa. 会員のニーズを的確にキャッチするためマークETINGする  
b. それにより、多くの会員がやる気を出す方法を検討する  
c. 活動を活性化させるために、グループネットワークをつくる。個人やグループ間のコーディネートネットワークを置く など

今回は、冒頭部にも書きましたが、かなり特集スタッフの意見・主張を出しました。反論・反発があっても、あんふぁんてのことをみんなで考えていくことが目的です。ぜひ、ご意見をお聞かせください。

また、回答を下さった皆さん、文章を省略したり、載せきれなかったり、ごめんなさい。本当に、全文を読んでもらいたかった。悩んだり、憤ったり、笑ったり……「声」が聞こえるような思いを何度もしました。また、会報などでもお会いしたいものです。

(まとめ・文責：藤田)





## Na 221

来期案アンケートに  
寄せられた質問に答えて

★★アンケートの中の意見・質問の中で、事務局からの説明が必要と思われるものをピックアップしてみました。  
(事務局・川崎)

Q・時々、アンケートや署名用紙が送られてきますが、責任者や担当団体がどういうものか、「あんふぁんて」とどういう関係にあるのか分からないことが多く、内容的には賛成でも出すことをためらう時があります。はっきり記入して下さい。

### ▲アンケートについて

年一回実施している全会員対象の「来期案アンケート」の他は、新入会員自己紹介用ハガキアンケートと、会報の特集企画作成のためのもの。それぞれの特集担当者が作成し、回答の送り先は事務局の時もあれば、担当者宛の時もあります。今後は、『お産本』作成のためのアンケートを予定しています。

▲署名用紙について

・おんふぁんて独自の署名活動の場合――  
「国鉄にベビーコーナーを」「ワイメンズ  
ブラザに保育室と保育者を」等の署名を、活  
動の一環として行ないました。おんふぁんて  
だけだと人数に限りがあるので、趣旨に賛同  
してくれた他団体にも協力してもらいました  
・他の団体の署名活動の場合――  
会報等で取り上げた内容や、おんふぁんて

の趣旨とあう内容のもので、ぜひ会員にも知らせたい、一緒にやりたいと思うものには協力してきました。その際、どこの団体の署名か、なぜこれを会報に同封するのかは、必ず会報や署名用紙につけたメッセージの中に明記しています。ただし、署名するかどうかは個人の自由意志によります（当然ですが）。

最近「浜岡原発を止めて」の署名を募った「PKO法「難則」を広める会」は、PKO法案が国会で審議されていた当時、徴兵制につながりかねない難則をよく知ってもらおうと活動したグループで、現在は先日あんふぁんでも講演会を開いた平井憲夫さんらとともに、原発問題に取り組んでいます。

「婚外子差別徹底」の署名の「しんぐるまざーず・ふぉーらむ」は、六月号でも紹介しましたが、シングルマザーとその子の抱える多くの問題を解決すべく活動しています。あふあんでだけでは取り組めない様々な問題は、地道に活動する他のグループと今後とも協力しあいつつやっていきたいです。

Q・託児なしの講座に出席するため近くのあんふぁんて会員に託児をお願いしたが、その講座が金曜から土曜に変更になり、土曜は夫が休みだからダメと断わられてしまった。土曜・日に夫がいるから預け合いてできないというのでは、あんふぁんてに入っても自分の生き方をみつめることにはなっていないんじゃないだろうか。

▲あんふあんての預け合いについて  
あんふあんてでの預け合いは仕事としての

託児ではなく、親子ともども一緒に育ち合おうという共同子育てなので、互いの信頼関係を築くことが大前提です。仲間作りをせずに託児のみを希望する場合は、ベビーシッター会社などを探して下さい。

—自分の子は預けたいけれど、人の子を預かるのは大変そうで不安だわ—という人が多いようですが、人の子を預かることが自分の子育てを見直すきっかけになったり、わが子の持つ別の面に気付くことにもつながるのでぜひチャレンジして欲しいと思います。

▲人とつきあう場合のマナーについて

どんな場合でも、相手の気持ちや事情への配慮をしたいものです。自分の都合だけを押し付けたのでは対等の関係は結べないし、長続きしません。特に赤ちゃんのいる場合など電話や玄関のベル一つで困ることもあるのだと、常に頭に入れておきたいです。

また、夫婦の関係はさまざま。土曜日の行動だけを見てその人の精神的自立度を推し量ることなど、できるはずがありません。人間関係を築く第一歩は、互いの考え方や生き方の違いを認めあうことではないでしょうか。

Q・会報の行間をもう少しあげた方が見やすいのでは？

▲約二十年、同じレイアウトでやっています  
少ないスペースに多くの人の声を入れるため  
カットのスペースが少なくなることもあり、  
多少きつめ。ワープロ等も利用し見やすい紙  
面を心がけたいので、協力をお願いします。

Q・「病める時もすこやかな時も」の連載はともインパクトの強い内容でした。できればその後の「今」の話―後日談とは違うけど―読みたいですね。筆者にアプローチして！

▲一九八九年十一月号から九十年十一月号まで七回連載されたシリーズで、安原（塩谷）さんが夫の病気や自分の再就職の悩みなどをストレートに書いて好評でした。ご本人からのメッセージです。

「家を建て替えることになり、ただ今仮住まいに娘と二人で暮らしています。（八月の「埼玉版・夜のおんふぁんて」の会場です）夫の一周忌も終わり、ちょっとホッとしています。やっと素直に泣くことができるようになりました。夫と私の十三年の結婚生活を振り返って、良かったこと、いやだったこと、彼に対して心からごめんねとあやまりたいこと、やっぱりあなたはまちがってたよと言いたいことなど、少しずつ整理されていくのを感じています。連載中（会報を通じて）上野さんから受けた指摘に、思い当たる答えがみつかったような気がしています。近いうちに原稿にできたらいいなと思っています。久しぶりに書きたーい私です。」

Q・あんふぁんては何も強制されるものがないで、そこが好き。事務局もオープンで好感が持てるけれど、新人や初めて来た人には何かとっかかりになるものがあるといいかも。

▲切手貼り一つでも手伝う気であててくれると入りやすいかも。遠慮しないでネ。

「会員交流会に向けて」

◆皆さん、昨年の交流会を覚えていますか？  
 昨年は『キーワードはコミュニケーション』

の合言葉のもと、東京では『あんふあんてー十周年記念イベント』やビデオ上映会などの催しを行ない、東京以外でも「ティーブレイク」や地域の交流会などを行なった所もありました。思い切って参加してみたとしても面白かった、視野が広がった、あんふあんてが身近になった……といった反響も届いています。

◆では、今年はどうしたらいいのでしょうか。

今回の来期案アンケートから見えてきた会員像は、〔自分自身の生き方について興味を持ち、そのための刺激を求めている。けれども、行動面ではちよっぱり内気…〕といったところでしょうか。ただし力のある人は多いので、あとはきっかけ作りということ？

◆新年度の具体的活動は？

「あんふあんて・おもちゃ箱」メンバーからの提案は、運営委員会のようなものを組織するということ（9頁参照）。これは今までのスタッフ制を一步進めたものと言えます。ただし、誰がやるのか？立候補者がいなければ始まりません。また、ミーティングに参加できない遠くのメンバーの場合どうするかなどが課題です。

【自分自身の生き方に興味を持つ】ということとは、つきつめて行けば今の社会のあり方を問うことにつながります。自分らしく生きていくため、生き易い社会を作るため、何から手をつけていったらいいでしょう？

◆自分たちの経験を伝えるには？

◆自分たちの経験を伝えるには？

お産・預け合い・自主保育は、今まで苦勞しつゝ乗り切ってきた様々なこと。でも私たちも、もっと前の人たちの経験をふまえて乗り越えてきたのです。だから、その時期が過ぎてしまったらもうオシマイではなく、これからの人たちに上手く経験を手渡せたらと思います。そのため的一步として、久々のお産本作りにとりかかろうとしています。

◆受信者から発信者へ！

アンケートのまとめの中で、「発信する意識の希薄さ」と「お客様意識の強さ」が指摘されていました。でも、受身でいては本当の自分を知ることはできません。自分なりに動いてみて、様々な人と出会ってみて、はじめて「私ってこんな人だったのー」とわかるもの。では、どうしたら殻を破って自分を出せるのか？発信者としての自信を持てるのか？この辺に新年度のポイントがありそうです。

◆一人一人が、自分はどう思うか、何が出来  
るか、あんふあんでをどうしていきたいか、  
具体案を持って交流会に参加してください。  
また、当日はこの会報を持参して下さいね。  
★合宿人数余裕あり、迷っている人申込を！



## 復活！ヘコラム

## ”地球”を考える

## その⑩

（※このシリーズは、一九九一年二月号から一九九二年六月号まで九回にわたり連載されたものを、久しぶりに復活させたものです。投稿や感想をお待ちしています）

## 生理用品と平成ゴミ事情

豊島区

## 【生理用品はゴミになる】

ある日の事務局。女性三人寄れば生理の話、出産の話、老人の話、ゴミの話等々。おむつと生理用ナプキン、それに最近は大入おむつのテレビCMがなんと多いことか！と話題になったのですが、「あんふあんて」一九七八年二月号で、矢郷さんは次のように書いています。

「一般的に初潮から閉経まで何日間あるのか、その期間を一回五日間、十三才から五十才までで計算すると、延べ二四〇〇日、即ち七年間近い日を経血で侵されて過ごすわけ」

（※これは十八年前の話。今は平均十一才半から初潮が始まり、最近では小学四年で生理のビデオを見ている学校が多い。）つまり、約七年間の生理期間に使う生理用品が、全てゴミになるわけですね。へちや

一人が使う紙おむつ総量が六帖間いっぺい！と言われていたことから考えると、いったいどれだけの量になるのか！

## 【ゴミを燃やすと有毒？】

現在、ナプキンも紙おむつも輸入原材料に頼っています。そしてそのほとんどの製品が、高分子吸収体を使っています。そしてナプキンの場合は、個別にビニール袋に包まれ、ビニールコーティングしたテープがつけられており、タンポンの場合は、外袋がビニール、中のアプリケーターはほとんどの場合プラスチックです。でも、プラスチックやビニールを燃やすとどうなるか、御存知ですか？

プラスチック（合成樹脂）を燃やすと、ダイオキシンが発生します。これは、ベトナム戦争で米軍が使用した毒ガス兵器の原因となった枯葉剤で知られる科学物質です。自然界にあってはならない猛毒で、人類が作った最悪の毒物ともいわれています。

ところが日本の場合、そのダイオキシンの主たる発生源がゴミ焼却場や製紙工場だとされているのです。ちょっと専門的になりますが、ポリクロロビフェニル（PCB）やヘキサクロロベンゼンのような芳香族塩素化合物が、燃焼にあたり酸化されてダイオキシンを生成するからです。

日本では年間十五キログラムのダイオキシンが出されていて、それに比べ欧米では、年間一〇〇〜二〇〇グラムです。欧米の実に七十五倍ものダイオキシンが日本ではばらまかれていて、この事は清掃業者の人々にさえあまり知られていないのが現状です。

解されます。ただ、下水管に先にヘアピン等がつままっている時、そこにひっかかり、トイレが詰まることあるかもしれません」という答えでした。私が「流せない」と書いた方がいいのでは」と言うと、担当者はプラスチック製ではないことを強調しました。

でも、自宅の下水管つまりももちろんですが、地域全体の下水処理のことを考えても、やはり流さない方がいいと思うのですが……

## 【私達にできること】

まず、「プラスチックやビニールは（燃やすのに）不適物である」という認識を統一すること。企業に改善を求めても、実行されるのはずっと先です。だからせめて、私達で生理用品を分別して捨てませんか？トイレに二つの汚物入れを置き、燃やせるものと燃やせないものに分けて捨てるだけでも違うのです。一つ一つは小さなビニール袋やアプリケーターですが、一人の女性が一日に何枚何本使用するかを考えてみてください。

一方ビニールに関しては、かつては「燃やせないもの」として扱われていたが、最近では「可燃物」として分類されるケースが増えてきました。ただしこれは、燃やさないゴミとして捨てられるビニールがあまりに多いため、燃やす工夫をして燃やさない場合全く有毒なガスが出ないという保障はありません。

## 【タンポンのプラスチックアプリケーターも燃やしてしまうの？】

では、私達は生理用品をどうやって捨てているのでしょうか。最近のナプキンの場合、本体を包んでいたビニール袋に使用済みのナプキンをくるめるような工夫がされているものもあります。また、そうでなくても多くの人はトイレに汚物入れが一つしか置かれていないため、そこにナプキンもビニール袋も一緒に捨てています。

一方タンポンの場合はどうかというと、フィンガータイプの他にプラスチックアプリケーターのついたタイプがあります。豊島区の場合このアプリケーターは（燃やされるのに）不適物扱いですが、トイレの汚物入れに捨てられると、ナプキンと一緒に燃やされることになり、燃やしてもいいのか気になって、メーカーに問い合わせしてみました。

チャームソフトタンポンを作っているユニチャームの、お客様相談室の坂本さんにかかったところ、「行政によってプラスチックを燃えるゴミとして扱っている所も

企業は、製品を売るばかりでなく、最後のゴミになるまで、いえ、ゴミになって煙になった時だけ地球を汚すのかまで、見届けることが大切です。企業をそういう方向に動かすのは私達消費者の役目。「もれない・ずれない」だけでなく、「環境をよごさない」製品作りをしてもらうため、働きかけていきたいと思います。

## 【使い捨て時代を終わらせるために】

聖パウロ修道女会修練院の話では、「三十年代から四十年代は、修道女になる人は一生分の生理用品を作り入館しました」ということです。つまり、使い捨てではなく手作りの品で、布製で、何度も洗って使ったようです。でも、今のナプキンやタンポンはリサイクルできません。全部ゴミになります。

ゴミ問題が深刻になってきたため、最近ではジュースの缶やビン、ペットボトル等はリサイクルやあき缶回収やと研究や工夫がなされています。ところが、衛生用品はあまり問題にされていないのが現状です。でも、私達女性が生理用品を捨てる時に心配すれば、ずっとゴミを減らせるし、空気を汚さずに済みます。

人類の半分が女性であることを考えれば、私達一人一人の責任は重大です。

※今後このコーナーでは、昔の人達がどんな生理用品を使ってきたか歴史を調べてみたり、紙おむつと環境破壊の問題などを取り上げていきたいと思います。



◆紙おむつの中の高分子吸収体って何？ 合成洗剤って体に毒なの？ 食器洗い用の粉せっけんってあるのかしら？

いろいろ疑問をもっている人、そのことなら私が知っているワという人、ぜひ連絡ください！事務局まで



# あんふぁんてから あんふぁんてへ

四月号を読んで

岡山県

THE幼稚園(予告編)は、わが家にも二才の子がいるので、とても興味深く読ませて頂きました。で、感じた事は、選べるくらい幼稚園があると大変なんだなということ。私が住んでいる所は、人口六万の地方都市。ここでは幼稚園が十六園しかなく、ほとんどが公立です。学区に一つの幼稚園しかないため、良い園であろうがなからうが、その園に通って小学校に行くのです。(教育熱心な方々はどうかされているか、わかりませんが)私自身幼稚園に望むのは、子どもに基本的な生活習慣を習得させること、丈夫な体づくり、季節ごとの行事を重んじることの三点。小橋さんの文章にもあったように、幼稚園に期待しすぎてはいけません、幼稚園を大きな遊び場と考えれば良いと思います。

昨今、幼稚園児のママ対象の雑誌も創刊され、幼稚園遊びが加味しにくくしている気もするのですが、この現象ってほんのひとりにぎりの大都市に限られているのでは?特集に載っていた方々も、皆さん大都市及びその周辺都市の方々です。私達が子どもだった頃、幼稚園と言えは自宅から一番近い幼稚園に行くのが普通でしたよね。良い幼稚園をとやうきになるより、もう少し冷静に親子にとって何が大切か、考えてみる事が大事だと思うのだけれど、どうでしょうか?

## 近況報告

千葉市

長女が小学校入学、次女が幼稚園に入園し、三ヶ月ほど過ぎました。長女は幼稚園の時、登園拒否でさんざん親を悩ませてくれたので、小学校はどうかなと思っていましたが、毎日元気に通っています。近隣の母親達の話では、長女の担任は「ハズレ」だそうですが、子どもは一言も先生について言いません。

友達関係も、親の方がハラハラするくらいいじわるな子や口調のきつい子などがいて、きつと嫌な時もあるだろうに、親には話しません。先日ふふで箱がなくなったり、上履きの中に青いインクのしみがあつたりしました。たぶんいたずらだと思ふのですが、「いたずらしないで下さい」とうてが箱に書いておいたら子どもにも言ったら、「いいよ(その必要はないという意味)」とあっさりかわされました。このふふでは、もっと深刻なじめにあつても、なかなか親には話さないかもしれなと思います。

次女は予想通り、幼稚園生活も順調にすべり出したと思つていましたが、六月になって「五月病」になりました。でも長女の時で慣れていたの、無理に行かせないで三日間休ませたら、落ちついたようです。子どもからすれば、「なぜ四月から毎日幼稚園行かなくちゃいけないの?」ということなんだろうと思います。特に年少の時はまだ、友達と遊べる喜びが母親に甘えられる喜びに勝るとは限らないですものね。

の著作で有名な広瀬隆さんの講演会を開きに行ってきました。以前「まだまにあうのなら」(地湧社・定価300円)という本を読んで、これは大変だという思いでその本を友人に貸したり、署名用紙があればできるだけたくさん集めたりしたこともありましたが、でも、かつての原発運動もや下火のようでしたので、忙しさで自分をごまかして、そつとしておいたのです。でも、今日のお話では、もんじゅの事故は大勢の死者を出す大惨事の一手手前だったこと、六ヶ所村や浜岡原発は大地震のおきる可能性の非常に強い所に立っていること、天然ガスを使った効率の良い発電が開発されつつある(これをすすめるという訳ではない)こと、原子力産業はだんだん撤退する方向にあることなど、たくさん参考になるお話を聞きました。私はしろろとですので技術的なことはわかりませんが、もし事故が起きたら日本中そして世界中が被害にあうような発電方法を、いったい誰がはしがるのでしょうか?放射線廃棄物は、何百年何千年も放射能をまき散らすのです。私達のちょっとした安楽のために、子孫を困らせるようなことがあつてよいのでしょうか?

## 情報コーナー

### ★グループリストの内容訂正

一九九六年四月現在のリストの訂正です。  
①7頁の「BODY&MIND」と「おしゃべりスクラップ」の連絡窓口の福島さんが、転居しました。新住所は

電話番号は変わりません。

②3頁の「あんふぁんて多摩分会」は、メンバーの転居や仕事の都合で、活動を休止しました。

③6頁の「はにかみ屋のママたち」は、回覧ノートだけのコミュニケーションが難しく、活動を中止しました。

★「W.D.O.(女と仕事を考える会)」の冊子第二号ができました。ご希望の方は、送料分の切手(190円分)を貼った返信用封筒(B5ノートが入る大きさ)と、冊子代金1000円分の切手を同封して、藤崎 まで申し込んでください。

内容は、①私が仕事をしたい理由②再就職へのハードル③働き方は生き方、ここがポイント④その他、ずしりと重みと読みがいのある内容です。

★埼玉班・夜のあんふぁんて(宿泊可)

8月16日(金) 4時オープン浦和の安原宅。たまには子なしでじっくり話しましょう。場所は先月号の地図を参照の事。8月14日まで連絡を。

★平日あんふぁんて・羽根木ブレイク  
9月13日(金) 小田急線梅ヶ丘駅11時集合

いくつかの自主保育グループの拠点でもあり、「自分の責任で自由に遊ぶ」羽根木ブレイクは、駅から数分の羽根木公園の中にあります。どんなOKの服装で、遊びまくりましょう。弁当・着替え持参。申し込みは9月12日(木) 午後1時までに事務局へ。

★アモルファス合奏団演奏会のお知らせ  
20周年イベント演奏会メンバーが出演す

9月16日(月) 2時半/カザルスホール(お茶の水)入場料2000円・託児なし 詳細はC&F A X 松永まで。

★来期案決定会員交流会で会いましょう!  
年に一度皆であんふぁんてへの今後を話し合うチャンスです。今月号掲載の会員からの声をどう形にしていこうか考えます。申込はハガキに住所・氏名・子連れの場合は子どもの名前と年齢も明記し、8月20日迄。

●来期案決定会員交流会のお知らせ  
日時: 8月27日(火) 10時~3時  
場所: 早稲田奉仕園6号館1F  
地下鉄東西線早稲田駅下車5分  
会場費200円・おやつ代100円  
年一度のチャンス、ぜひ来て下さい。



## 事務局から

●「24000年の方舟」上映と平井憲夫さんの講演会の会計報告です。収入は、チケットや本の売上とカンパで、合計37000円。支出はビデオ代・講師謝礼・ちらし等印刷費で、合計72000円。差額の35000円に關しては、今後ビデオ貸し出し費などで穴埋めしていく予定です。

### 《スケジュールメモ》

8月8日(木) 21日(木) 事務局夏休み  
この間の事故の連絡等は手紙でお願いします。  
8月27日(火) 来期案決定交流会 (早稲田)  
8月27日(火) 28日(水) 夏合宿 (早稲田)  
9月2日(月) 会報編集会議 (事務局)  
9月9日(月) ミーティング (事務局)  
9月13日(金) 平日あんふぁんて (羽根木)  
9月26日(木) お産本編集会議 (事務局)  
9月28日(土) 土曜あんふぁんて (幾代宅)  
※夜6時半から一品持ち寄りの大人の会  
10月7日(月) 10月号送付作業 (事務局)  
☆会議等は11時/3時(弁当持参・子連れ可)です。参加者は事前に事務局まで連絡を。

●あんふぁんてでは会員の会費のみで運営しています。会費の振込がまだの方は至急振込をお願いします。会費が切れても本人からの連絡がない限り退会などの措置はとれません。退会・休会・転居等の場合必ず連絡ください。



覚えていますか？ チェリイの原発事故を！ (その68)

※今回は、9/22(土)エボック10で行われたビデオ上映会と講演会の感想をいただきました。

「24000年のカネ」と平井さんのお話から

(東村山市)

ビデオの内容は、小さな子を持つ私  
にとって 衝撃であった。海の向うの  
話だと思っていた放射能汚染が、  
身近なところで起きている。画面には  
田畑が映り、そこで作られた作物が  
食卓にのっている。一番不思議に  
思ったのは、この事実がほとんど報道  
されていないこと。知らなければ  
危機感も起きない。国や電力会社  
の手前、マスコミは報道しにくいの  
だろうが、もう、国や政府がどうにか  
してくれるだろうと思っていられぬ。  
自分や子供たちの身は、自分で守ら  
なければならないとつくづく感じた。  
まずは原発の恐ろしさを皆に知って  
もらうこと。広めること。そして原発  
廃止。一歩から すぐにも始めたい。

(右段につづく)

話は変わりますが、会場どなたかが  
持っていた放射能を測定する機械。  
どこでいくらで売っているのですか？  
(高木様) 輸入物の食品にも、放射能  
に汚染されている物が随分あるらしい。  
(原発のないシンガポールなどは、1ベクレル  
検出されても輸入禁止なのに、日本は  
原発がある手前、汚染基準が  
370ベクレルと高い！) にかたがた強  
しておりました。) もっとくわしくしたのは  
わざわざ「原発や腐敗をふせ」為に  
放射線を照射しているじゃがいもが  
市場に出回っていること。これは科学  
技術庁が「原子炉の多目的利用の  
開発」を目指して始めたとか。  
いわずもがな、このジャガイモは体に毒！  
そんなわけで、民間レベルで「スーパーなどに  
売っている食品の放射能値を測定したら  
いい」思っています。意識を変えると  
いろいろな情報が飛び込んでくる  
ものです。ビデオ上映会と平井さんのお話  
がよいきっかけになりました。

※あんふぁんて事務局では、今後「24000年のカネ」のビデオと、平井さんの  
講演のビデオ、それに当日の資料をセットで貸し出します。(料金: 3000円)

☆新事務局までの地図☆

☆当会について詳細を知りたい場合、封  
書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手  
四百円分(なるべく少額の手紙を送って  
下さい。入会希望の場合はなるべく会費  
六ヶ月分(三千元)以上まとめて、郵便  
局の振替口座に払い込んで下さい。

第221号 (毎月1回5日発行)  
1996年8月5日発行  
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 8・9月合併号

発行人 /  
発行所 / あんふぁんて出版部

電記  
(12時～2時受付)

定価 / 500円  
振替口座 /  
加入者名 / あんふぁんての会